

令和 7 年度の主要実施事業報告

**(1) 京丹後市文化財保存活用基金 [基本方針 1-2-6]**

京丹後市文化財保存活用基金から文化財保存活用事業に繰入し、補助金交付額の拡充をはかる。

京丹後市文化財保存活用基金（令和 5 年 9 月 15 日付設置）

令和 6 年度事業に 2,000,000 円繰入し、令和 6 年度末残高 84,983,285 円。

令和 7 年度は、11 月 25 日時点の実績で 52,519,500 円（1,931 件）の寄附金あり。令和 7 年度事業には 27,368,000 円を繰入予定。

**(2) 京丹後市市民遺産制度 [基本方針 1-5-24]**

令和 6 年 4 月 1 日から公募を開始。

令和 6 年度 京丹後市市民遺産の認定件数 5 件。

令和 7 年度認定目標件数：3 件

市民遺産補助金制度の創設。

**(3) 網野銚子山古墳整備事業 [関連文化財群 2-1-3]**

令和 7 年 4 月に史跡オープン。令和 7 年 4 月 26 日（土）にオープニングイベントを実施。年度末に整備事業報告書を刊行予定。

**(4) 府大 ACTR・学校連携 [基本方針 1-5-26、関連文化財群 2-1-6]**

令和 7 年度京都府立大学地域貢献型特別研究（通称：府大 ACTR）が採択され、湯舟坂 2 号墳プロジェクトにおいて、市教委・府大・須田区が協力し、須田平野古墳の発掘調査等を実施する。あわせて、丹後緑風高校との連携授業を実施し、高校生が須田平野古墳の発掘調査を体験する。



(5) 丹後震災記念館耐震化・利活用検討事業 [関連文化財群 1-3-2]

丹後震災から100年を迎えるにあたり、丹後震災記念館の耐震化や新たな利活用について検討を進める。

- ・検討委員会の開催 → 基本計画の策定。
- ・サウンディング調査を実施 → 活用の方策を検討。
- ・建物調査 → 再度の耐震診断と耐震工法調査

(6) 丹後震災100年に向けた取組み [関連文化財群 1-3-1]

令和9年3月7日に100年を迎える丹後震災の周知啓発を図るための取組を進める。



- ・デジタルアーカイブ事業 → 震災資料のデジタル化
3Dデータの作成
- ・丹後震災記念展 → 例年、峰山地域公民館で実施していたものを小中学校での巡回展示へ
- ・丹後震災次世代プログラム「100年越しのシャッター」
→ 小中学生対象の定点観測体験（震災当時の写真と同じ構図で撮影をする）。